

夏のわく算「事前説明会」

8月に入りました。今年で14年目の夏のわく算（＝わくわく算数・数学教室）がいよいよ始まります。8月5日には、毎年恒例の「事前説明会」を行いました。なんと！25名ものSPさんが来てくださいました。暑い中、そしてせっかくの夏休みにこれだけのSPさんが来てくださることに感謝です。



東浦町は、初めてのSPさんでも安心して活動を始められるシステムが整っています。その一つが、この事前説明会です。事前説明会では、わく算の目的や当日の流れ、注意事項の確認をします。特に、注意事項に関しては、教員になってからも知っておかなければならないことが盛り込まれており、将来教員を目指す学生さんのためになるようによく考えられています。また、近年は片葩小学校の校長先生がとても勉強になるお話をしてくださっています。現場の先生から直接実践について聞ける機会はそうそうありません。説明会に参加するだけでも、教師を目指す学生さんにとっては大変貴重な学びの機会になっていると感じます。今回は、「和算」について、授業で実践されたこととお話していただきました。

右の写真のように積んだカラーコップを「いくつあるか、答えてください。」と言われたら、みなさんはどのように立式しますか？実際の授業では、1つずつ数える子、足し算にする子、掛け算を使う子がいたそうです。興味のあるSPさんは、ぜひSPさん同士で話してみてくださいね！ちなみに、今回の考え方で使ったのは「俵杉算」という和算だそうです。校長先生は、この授業で最終的には面積の話までいきかけたとお話されていました。（ヒントは右下の写真を参考に！）また、今回の実践は、この後の探究活動（和算を調べてみよう）のためのきっかけ（導入）だったそうです。最近よく「自己調整力」という言葉が聞かれますが、こうした探究活動をした時に、子どもたちの自己調整力を高めるために教師がどう形成的評価をして子どもたちにフィードバックさせていくのか……。そこがポイントだそうです。いろいろな「〇〇力」という言葉がありますが、教師はこの「〇〇力」を伸ばしていくために日々の授業や声掛けを考えていきます。わく算で、「どうしたら目の前の子の〇〇力が高まるのか？」たくさん試行錯誤してみてください。それがみなさんにとって大きな学びのチャンスになります。

